

平成27年度第8回移動市長室会議録

(平成27年11月18日)

1 日 時：平成27年11月18日（水曜日）10時30分～12時40分

2 場 所：山口区公民館

3 出席者：

『山口区』

荒瀬区長、副区長、評議員長、公民館主事、老人クラブ、婦人部、民生委員、
福祉委員、サロン登録者（32人）

『筑紫野市』

藤田市長、檜木健康福祉部長、山崎環境経済部長、江崎教育部長、
八尋生活福祉課長、野坂秘書広報課長、畠添生活福祉課係長、
江中秘書広報課係長、末吉秘書広報課主査

4 内 容：団体の現状と課題などについての懇談

○（事務局） ただいまから平成27年度第8回、通算52回目の移動市長室を始めさせていただきます。本日の懇談は、お手元の次第のとおり進めさせていただきます。この後、藤田市長の挨拶、山口区の荒瀬区長の御挨拶、参加者の自己紹介、活動報告、筑紫野市の主な施策概要の説明、意見交換、最後にお礼の挨拶、といった順番で進めさせていただきます。活動報告では、パワーポイントを使って、福祉委員の佐伯さんより山口いきいきサロンについてお話をいただきます。その後、市長より山口区に関係する市の主な施策概要の説明をいたします。説明の後は、本日参加いただいた皆様が発言できますように意見交換の時間を設けています。

本日の懇談内容は、会議録を作成し公表します。撮影した写真は、市のホームページ、広報紙に掲載させていただきます。

それでは、初めに、藤田市長が御挨拶を申し上げます。

○（藤田市長） 皆さんこんにちは。今、司会から紹介がありましたように、本日は第52回目の移動市長室を山口区の皆さんと地域で取り組んでおられますいきいきサロンの活動について懇談をさせていただくことになりました。実は、この山口公民館には、平成23年11月に山口農産で移動市長室第4回目をここでさせていただいたところがございます。まだ4回目でしたね。今日は52回目です。御縁があるなと思って、感謝しております。荒瀬区長をはじめ、地域の役員の方には大変お忙しい中に、御準備いただきまして、まことにありがとうございました。

今日は、私もいきいきサロン活動に参加をさせていただきましたが、先ほど皆さんと一緒にジャンケンをしたり、「山口音頭」を歌わせていただいたり、久しぶりにむさしヶ丘保育園の山下先生にお会いしたような気持ちでして、小学校のころに戻りまして、懐かしい思いがいっぱいでございます。しっかりパワーをいただいたところですが、本格的なこの高齢化の社会が到来いたしました。いかに住みなれた地域で、元気に生活が続けるかが大きな課題です。

本日は、いきいきサロン活動をとおして、認知症予防や健康寿命の延伸など、介護予防に取り組んでおられる皆さんと懇談をさせていただきながら、今後の市政運営に生かしていきたいとこのように思っているところです。是非、限られた時間ですので、忌憚のない御意見をお聞かせいただきたいとこのようにお願いを申し上げます。私の挨拶と代えさせていただきます。どうぞ皆さんよろしく願いいたします。

○（事務局） 続きまして、荒瀬区長に御挨拶をお願いします。

○（荒瀬区長） 改めて、皆さんこんにちは。区長の荒瀬です。地域を代表しまして一言、御挨拶を申しあげさせていただきます。今日は非常に足もとが悪い中、いきいきサロンの移動市長室にお越しいただきまして、本当にありがとうございます。

また、藤田市長様におかれまして、お忙しい中、県道137号線に関する県の要望など日ごろから山口区の発展のために御尽力いただきまして、本当にありがとうございます。おかげさまで山口区の長年の懸案でありました駐在所前から小石団地間、この県道の拡幅の工事の見通しがようやくたちました。これも藤田市長のおかげだと深く感謝をしております。本当にありがとうございます。

また、今日は、山下国子さんと尾中孝子さん、立派な運動サポーターをしていただきまして本当にありがとうございます。感謝いたします。

移動市長室を山口で開催という案内がありましたときに、主体に何をしようかといろいろ考えた次第でございますが、普段ではなかなかお会いする機会がないいきいきサロンの皆さん方と市長と一緒に活動してもらって、日ごろの活動どういことをやっているかということを見てもらえば一番いいのではないかなと思ひまして、いきいきサロン中心の移動市長室に決めたわけです。

最後のほうに、さっきお話がありましたように意見交換会もございますので、市長と話ができる機会ですので、後でまたお茶なんか出ますので、お茶を飲みながら気軽にお話できれば幸いに存じます。また、今日の移動市長室開催が、皆さんにとって市長とお会いし、話ができることがよりよい思い出になることを願ひまして、最後までゆっくり楽しんでいただきたいと思ひます。

最後になりますが、御出席の皆様方の御健康、御多幸を御祈念申し上げまして、挨拶と代えさせていただきます。本日はありがとうございます。

○（事務局） ありがとうございます。ここで、本日の参加者の自己紹介を行います。まず、市側から行います。私、本日の司会を務めます秘書広報課長の野坂です。

○（檜木健康福祉部長） 4月から健康福祉部長を仰せつかっております檜木です。

○（山崎環境経済部長） 環境経済部長を担当しております山崎博です。

○（江崎教育部長） 教育部長の江崎です。

○（生活福祉課） 生活福祉課長の八尋です。

○（生活福祉課） 生活福祉課地域福祉担当係長の畠添です。

○（事務局） 秘書広報課広報広聴担当係長の江中です。

- （事務局） 秘書広報課広報広聴担当の末吉です。
- （事務局） 続きまして、山口区の皆様、お願いします。
- （荒瀬区長） 区長の荒瀬です。
- （副区長） 会計を仰せつかっております坪内です。財政が厳しゅうございましてやりくりに困っておりますが、皆様の御協力のもと頑張っていきたいと思っています。
- （評議員長） 評議員をしております松下文夫です。市長におかれましては、私の姉と同級生ということもあり、昔からよく存じ上げておりますけども、よろしくお願いします。
- （公民館主事） 公民館主事をしております小林です。先日は、区長の挨拶の中にありましたように、目の前の県道、この拡幅について市長さんに大変御迷惑かけて、区長が申し上げられましたように順調に進んでおります。一昨日の3時からその総会をいたしまして、それぞれ関係者に進捗状況をお話したところです。また、県のほうからも出席をいただいて、具体的な説明を行われたということで、市長さんのおかげで今137号線が順調に進んでいるということを皆様にお知らせしながら、私の挨拶とします。
- （老人クラブ） 老人クラブのお世話をしております末次です。このいきいきサロンというのは、老人会の一環の事業だと思っておりますけど、私は会員にはなっていないのです。会長であって、なってないのですから、今、山口老人会に登録されている方が大体83名ぐらいです。それに対して、行政区の中には百十数の老人の方がおられる。なかなか老人クラブの中には加入されない方が何人かおられますので、私たちは入られるような形にしたいという気持ちもありますが、大体いつも来られるのは80%～70%ぐらい、それを大体、今のところ常時80%来てくれれば上のうちじゃないかと思って今のところお世話をしております。グラウンドゴルフになりますと大体50%ぐらいです。また頑張っていきたいと思しますので、よろしくお願いします。
- （老人クラブ） 老人クラブ副会長を仰せつかっております松下です。今、会長のほうからいろいろお話がありましたけど、老人クラブとしても年間の活動をいろいろやっております。その中で私もいきいきサロンには時々参加させていただいておるのですが、老人クラブの会員の方がほとんどでして、非常にいきいきとして楽しくやっておられる、今後とも続けていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。
- （婦人部） 婦人部代表をさせていただいております影山啓子です。今年から先輩たちが退任されたので、新しいメンバーで少人数で行事に参加させていただきながらいろいろと取り組んでいきたいと思っております。今現在は、資源ごみ回収に力を入れております。皆

さん、ぜひ、市の回収のときも出されていらっしゃると思うのですが、気をつけていただきながら婦人部の資源ごみ回収にもぜひ御協力いただけたらと思っております。よろしくお願ひします。

○（民生委員） 民生委員を仰せつかっております森実です。この山口におきまして、高齢者の人口というのは30%を超えております。その中で、後期高齢者の方が約15%、結構、毎年多くなっている。皆さん方、今から高齢化社会になってくると、今、高齢者の方が免許を持って運転して買い物とか行動されると思いますけど、そういう制約がだんだんと迫って免許証の返納となりますと、いろんな行動が縮まってくるのじゃないかと、こういう危機がこの地域にもうすぐ来ると思ひます。だから、今後こういうことが課題ではないかなと思ひます。

○（福祉委員） 福祉委員を担当しております石橋です。今年初めて福祉委員を担当させていただいているのですが、何をやったらいいのかよくわからない、1年目なので、ちょっとすったもんだしているのですが、福祉委員3人で協力しながら、そしてサロンの会員さんにいろいろ手助け、助言してもらいながら何とか続けてやっています。また、2年間という任期がありますので、協力を得ながら頑張っていきたいと思ひます。

○（福祉委員） 福祉委員をしております帆足です。2年間の任期を皆さんと楽しく過ごせたらいいかなと思ひます。迷惑かけるかと思ひますけど、よろしくお願ひします。

○（福祉委員） 福祉委員の佐伯です。他の2人は1年目ですが、私は2年目で一番上になるのですが、まだいまだに皆さんにお手伝いをしてもらって皆さんと一緒に楽しくやっていきたいと思ひし、また、皆さんも喜んでいただけるようにしていきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

○（山口区） 飛び入りですいません。一昨日参加することに決めました。実は、特に問題がないということであれば、来年1月から民生委員をやらしていただく原野です。何もわかりませんが、どうぞよろしくお願ひします。

○（サロン登録者） 運動サポーターをしております山下国子です。山口では私と尾中さんの2人で何とか活動しています。すいません、ちょっと時間を借りて、皆さん、思い出しましたか。県庁視察にいっきサロンで行きましたよね。そのときに市長さんがまだ県議会議員でおられましたときに、バスの中から議員さん、今から県庁視察に行きますけど、誰も案内する人がいないから来てくださいませんかと電話したんです。そしたら市長さんが、今家におるたいと言われて飛んで来てくださいます、県庁の中を議会の中とか議長

室とか議事堂とか全部案内してくださいまして、山口いきいきサロンはとてもお世話になっているのです。その節は本当ありがとうございました。

○（サロン登録者） サロン登録者の石内裕子です。

○（サロン登録者） 末岡です。

○（サロン登録者） 柚木スエ子です。

○（サロン登録者） 三角マサ子です。ずっと農業を続けておりますけれども、ごらんのとおりあと2、3年で80歳になります。それで80歳の2人がこれから続けて行くのにちょっと無理と思うのです。後がおりませんので、調整区域そういうのが今までどおりで変わらないかなと思います。

○（サロン登録者） 石橋です。いきいきサロンに入って、ものすごく皆に親しみがあって、私、普通、顔見ても挨拶ぐらいしかできなかつたのに、ここで皆に知り合つてとても楽しく思っています。いろんなことを教えていただいて、家で何もしない、ただテレビをじーっと見ているだけですけど、体操とかいろんなお話とか聞いて、本当にありがたく思っています。今後もよろしくお願いします。

○（サロン登録者） 三角幸子です。

○（サロン登録者） 高原千代子です。

○（サロン登録者） 松下ユキエです。今、公民館の会計をさせていただいております。年齢的にも敬老会に2年参加させてもらいましたけど、自分としてはまだまだ現役でやれると思つていまして、教育と教養が必要ですよということをお聞きしたときに、できるだけかけて行って勉強させてもらっております。

○（サロン登録者） 運動サポーターの尾中です。私も来年からお邪魔になりますので、よろしくお願いします。私も体操して皆さんと一緒に元気で、おかげさまで運動サポーターをずっとしていますけど、風邪をひかないようになりました。皆さんに風邪はうつしたらいけないと思つて元気に毎日過ごしております。一応、サロンの登録者です。

○（サロン登録者） 高野晴美です。本当もう久しぶりにいきいきサロンに出席させていただきました。ありがとうございました。

○（サロン登録者） 森下です。よろしくお願いします。この年になって、いきいきサロンの会員に入らせてもらいまして、とても楽しく、もう年取つたからと思つてですけど、楽しく出席させていただいております。

○（サロン登録者） 来年米寿を迎えております末岡です。

- （サロン登録者） 年取って88歳のおばあちゃんをこんなに誘ってもらってありがたいと思っています。篠原です。
- （サロン登録者） 田原です。
- （サロン登録者） 佐伯です。
- （サロン登録者） 鳥尾です。いきいきサロンで楽しくいきたいと思っています。
- （サロン登録者） 田原モミ子です。
- （サロン登録者） 市長さん、お忙しい中お疲れさんでございます。私、末岡です。

今日出席した方は、いきいきサロンの方がほとんど、いつも毎月定例会で会っておりますが、平成15年3月4日からいきいきサロンは始まっております。そういうことで、初めはいろいろエプロンをはめて、そして料理がずっとあっておりました。今もう大分改善されまして、料理の講習は全くあっておりません。それともう1点は、男性の方が10名ほど参加してありましたが、少子化、高齢化ということ含めて男性の方が初めから受けておられる方ほとんどおられません。私と2人かな。

市長さんと話すことがないもので、いろいろお願いしなきゃということもあるし、どうだろうかと思いますが、ぜひ言っておかないといけないなということがあるわけです。というのが、市長さんが県道については非常に協力して頑張っていただいておりますが、もう県道の拡幅については20年ほどそのままに、一部改善されておりましたけど一部だけであって、私思っておりますが、県道の拡幅については、やっぱりもう少し実践してもらわないといけないなということです。ちょっと長くなりましたが、時間が決まっておるようですので、後でまたお願いします。

- （事務局） ありがとうございます。それでは、いきいきサロンの活動を末岡さんから一部御紹介があつてございましたが、佐伯さんから活動報告をお願いします。
- （福祉委員） それでは説明させていただきます。

サロンを始めたきっかけというのを調べていただいたのですが、社協が開催した平成8年度から9年度までのおじいちゃんの料理教室から始まっています。山口コミュニティセンターで5回開催されているそうです。年齢は60歳～83歳までの22人の高齢者の方が参加されたそうです。その後、おじいちゃんの料理教室を山口区公民館で開催、参加者を中心に山口いきいきサロンを開始、当時は福祉委員制度がなかったため、山口区の婦人部の方が担当されたようです。福祉委員制度ができ、サロンの担当を福祉委員に移行し、現在のいきいきサロンになりました。

いきいきサロンの予算をお話します。社会福祉協議会から助成金として年間3万6千円いただいています。そして、その中から社協特別会費、館外学習の燃料代、バスを使用するので有料道路代、それからお茶、お菓子、誕生日の方のプレゼント等に支出をしています。通常はいきいきサロンを行ってちょっとしたお茶飲みを行いますけど、参加者の負担はありません。年2回の食事会をやっているのですが、そのとき7月と12月は、食事会の際のみ300円をいただいています。それと、館外学習に行くときのお弁当代は、皆さん自己負担をしていただいています。

今年、平成27年度いきいきサロンの年間予定表は、4月15日は開校式を行って、区長さんと民生委員の方に来ていただいて、一緒に山口駐在所の道さんによって防犯についてのお話、特に、最近振り込め詐欺が多いから振り込め詐欺に遭わないようにというようなお話をいただいています。

5月20日は、山口区は運動サポーターの山下さんと尾中さんがいらっしゃいますので、この月はお二人にお願いしてストレッチ体操をしていただいています。

6月17日は、ふかの楽器さんに来ていただいて、音楽療法、楽器を持って音楽に合わせていろいろな運動をしていただいています。

7月15日は、博多笑い塾の小ノ上マン太郎先生に来ていただいて、人は笑うことで健康になれるということをレクリエーションを交えながら楽しくお話をいただいています。その後はお食事会をしています。

8月19日は、地域包括支援センターの天拝の園の古賀さんによって血圧測定と認知症にならないための運動、運動することによって認知症を防ぐことができるというようなお話をいただいています。

9月の館外学習は、後で説明します。

10月も認知症についてのお話でしたけど、これは市健康推進課管理栄養士の方に来ていただいて、食べ物によって認知症を防ぎましょうというようなお話をいただいています。

今日、11月は運動サポーターの山下さんと尾中さんをお願いし、また、市長さんとのお話を今からやっていきます。

それから、12月は、マジックショーを予定しています。その後はお食事会をするようになっています。

1月は、山下さんと尾中さんで運動療法をしていただくように予定しています。

2月は、ふかの楽器さんによる音楽療法です。

3月は、館外学習を予定しているのですが、まだどこに行くかは決めてないです。

この写真は、去年の11月19日に雷山千如寺大悲王院に行ったときの写真です。紅葉を見に行きました。この日は、ここの帰りにみかん狩りと伊都菜彩に寄って、皆さんで買い物をしています。

これは、山口コミュニティで行われましたやまぐちシニアまつりのとき、山口のいきいきサロンがステージ発表を行い、このときは皆さんで「春よ来い」と「春が来た」の2曲を合唱していただいています。

そして、これは3月10日の筑前町大刀洗記念館に行ったときの写真です。戦争の悲劇を通じて平和の大切さを学ぶということをちょっとわかったような気がします。それと、この帰りに武蔵寺、天拝のいこいの館に行って昼食をいただいて、あそこは足湯がありますので、足湯を利用された方がありました。

それと、これは9月に行ったNHK福岡放送局に行ったときの写真です。皆さん楽しい顔をされています。これは、その日に行った福岡市民防災センターのときの写真です。そして、防災センターでは、消火器を使って消火器の使い方の体験、それともう一つは、部屋の中で煙にまかれたときどのようにして外に出るかという体験、もう一つは、震度7の地震が来たときの振動の体験をさせてもらっています。以上です。

○（事務局） 御説明ありがとうございました。山口区の活動、山口いきいきサロンの高齢者が元気に活力を持って取り組まれている様子、特に健康寿命に焦点を絞った取り組みの様子がよくわかりました。

それではここで、今後の参考のために幾つかこちらから御質問をさせていただきますので、お願いします。まず、1点目ですが、福祉委員制度ができてサロンの担当を福祉委員の方が行ってあるということで、人数が少なく大変なのかなというところも若干気にはなるのですが、御苦勞されている点とかそういったところをございましたらお願いします。

○（福祉委員） 年間計画を立てるときに、やっぱり何をしようかということとか、さっきも出ましたが、館外学習の場所とか、バスを社会福祉協議会に予約するのですが、3カ月前にバスを予約して、それが抽選で当たらないと、もし他の地域も入っていた場合が、ここは第3水曜日ということで決めているのですが、なかなか。たまたまこの間は誰もいなくてよかったのですが、よその組織とぶつかったときに抽選になるらしくて、そのときに計画をどうしたらいいのかなというか、やっぱりそういうのでいつも何をしようかみたいな感じて困っています。よそのいきいきサロンがこういうのをしていますみた

いな研修とかが以前はあっていたらしいのですが、今はないので、そういうのがあったら助かるかなと思います。

○（事務局） いきいきサロンの研修の件はまた調べまして、回答させていただきます。

2点目ですけど、サロン活動を続けていかれる中で、地域の住民の方の協力というのはどうしてもこの後も必要になってくるのかなと思っていますが、その辺の取り組み、例えば周知をされている方法とかそういったお話をお聞かせいただきたいと思います。

○（福祉委員） すいません、ちょっと質問の答えになっているかどうかわからないのですが、山口の広報の中で会員を募集という形で地域にお願いしてはいます。

○（事務局） その広報の中身はどういったものをされていますか。会員募集だけですか。

○（福祉委員） そうですね。それと会員さんの募集というのは、月に1回高齢者のお一人で住んである方を福祉委員と民生委員さんとわけて家庭訪問していますので、そのときにこういういきいきサロンをしていますから来てくださいという声かけとかはやっています。

○（事務局） はい、ありがとうございます。こういった今日の活動の内容であったりとか、毎月の活動報告とかそういったのも広報のほうでは周知されているということですか。

○（福祉委員） 4月の最初の山口区の広報に1年間の予定表というのを3人で作ります。今月は何しようかと一応、予定は立てます。バス旅行のときでもバスが取れたり取れなかったりそういうときとか、社協に頼むとき、それで取れないときなんかがあります。一応、予定をこの月は社協に頼む、この月は運動担当、このときはヤクルトさんから来てもらってお話をしてもらおう、九電の方に来てもらおうと、大体1年間の行事を4月の最初には予定として作ります。でも、頼むのが大体3カ月ぐらい前までに頼まないといけなくて、4月に12月、1月までお願いしますということではできないから、それは予定として立てておいて、3カ月ぐらい前になって社協さんに何を頼もうか、どこどこに何を頼もうかって3人で話して決めていきます。それで、4月の時点ではまだ漠然としていますが、4月から3月までの予定表は一応入れていきます。

○（事務局） はい、どうもありがとうございました。いろいろ教えていただきました。今後の地域支援の参考にさせていただきたいというふうに思います。

それでは、続いて、平成27年度の予算及び筑紫野市の主な施策概要の説明を藤田市長から行います。

○（藤田市長） まず、平成27年度、今年度の予算の概要を報告させていただきます。

歳出予算の中で一番大きな割合を占めているのが民生費です。子どもや高齢者、障害者

などの福祉に使われるものです。予算の40.9%を占め、その額は、約126億8千万円です。

次は、総務費、行政の運営や戸籍、税金の徴収などに使われます。予算額は約35億8千万円、全体の11.5%を占めています。

次は、土木費、道路や公園などの補修や建設に使われます。予算額は約33億8千万円、全体の10.9%を占めています。

次は、公債費、市の借金を返済するもので、予算額は約31億円、全体の10%を占めています。

次は、衛生費、健康診断や予防接種、ごみ処理などに使われます。予算額は約28億8千万円、全体の9.3%を占めています。

次は、教育費、教育や文化・スポーツなどに使われます。予算額は約27億円、全体の8.7%を占めています。

最後に、その他は、議会や農業・商工業、消防などに使われる予算で約27億円、全体の8.7%です。

これらの予算の総額が約310億2千万円ということになっております。以上が平成27年度の一般会計予算でして、これを今実行して10万2千人余の市民の皆さん方の安全安心を含めた生活を守っているという予算になります。

次に、5つの柱というものがございまして、市政の運営にこれを柱として取り組んでいるというのがありますが、1つ目が「行財政改革」、2つ目が「産業・雇用をつくる」、3つ目が「生活を守る」、4つ目が「共助社会づくり」、5つ目が「未来をつくる」です。

次に、今年度の具体的な取り組みについて、いくつか紹介していきます。

大きな項目の1つ目「行財政改革」では、無駄を省いた効率的な行財政の確立に向けて、計画行政と効率経営の推進、適正な行政事務の執行などを進めています。

1つ目として、第五次筑紫野市総合計画の策定です。パブリックコメントを実施し、13件の貴重な御意見をいただいたところですが、これらパブリックコメントを重視しながら、第五次筑紫野市総合計画を策定していきたいと思っております。

2つ目に、社会保障・税番号制度、マイナンバー制度への対応です。来年1月からの利用開始に向けて、準備を行っているところです。

3つ目に、市庁舎の検討を行っています。市庁舎の検討は、今随時行っております。

大きな項目の2つ目「産業・雇用をつくる」では、まちを元気にする地域経済の活性化

に向けて、産業・雇用の創出、商工業、農林業、観光の振興の施策を進めています。

1つ目として、今年もプレミアム付き地域活性化商品券を3億円分発行しました。

2つ目に、消費者需要に応じた農産物の安定供給を図る取り組みを推進しております。

3つ目に、観光協会などとの連携、観光資源の有効活用を検討しております。

大きな項目の3つ目「生活を守る」では、市民の生活を守り、安全安心のまち・健康で笑顔輝くまちに向けて、防災・消防体制の整備、高齢者福祉の充実などの施策を推進しています。

1つ目として、高尾川・鷺田川の河川改修を着実に進めていきます。国の床上浸水対策特別緊急事業として採択され、総事業費78億円、5年間で完成する予定です。

2つ目に、災害時における警戒本部・対策本部体制のさらなる充実を図ってまいります。

3つ目に、地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置しました。

4つ目に、地産地消次世代推進事業です。子育て支援の充実と地元産米の消費拡大とともに、日本型食生活の定着を図るため、中学生までの子どもたちを対象に、「れんげ米夢つくし」の新米5キログラム配布しております。総量が約78.5トン配布することとなり、その対象者は、0歳から15歳までですが、1万5千697人です。現在の配布率は、81.31%でして、引き換えは、11月30日までとなっております。どうぞ期限内にお受取をいただきたいと思っております。

この項目における山口区に関する事業としましては、筑紫野市防犯組合連合会補助事業がございます。予算額は、28万円です。地域パトロール、年末夜警活動など地域の防犯活動が継続的に行われ、地域生活の安全が確保されるよう、補助を行います。

大きな項目の4つ目「共助社会づくり」では、いきいきと元気なまちに向けて、地域コミュニティによりますまちづくり、開かれた市政の推進などに取り組んでいます。

1つ目として、地域コミュニティ基本計画を策定しております。

2つ目に、コミュニティセンターに事務支援職員を配置しました。

3つ目に、市内で7館目のコミュニティ拠点となる二日市東コミュニティセンターを新設します。

この項目における山口区に関する事業として、コミュニティセンター改修事業、予算額は、1062万7千円です。山口コミュニティセンターの外壁老朽化に伴う改修工事のための経費です。一応完成を見ております。また、山口コミュニティにつきましては、区長さんをはじめ皆さん方に多大な御協力を賜っておりますことをこの場を借りて厚く御礼

申し上げたいと思いますし、またこれからもこのコミュニティを通じて、住みよい住みやすいまちづくり、地域でつくる自分たちのまちづくりに向けて御協力をお願いしたいと思っております。

最後になりますが、大きな項目の5つ目「未来をつくる」では、子育て支援の推進、青少年の健全育成などの施策を推進するほか、将来にわたって、自然と都市機能が調和するまちを目指して施策を推進しています。

1つ目として、子ども・子育て支援事業計画に基づき、総合的な子育てに関する支援を推進してまいります。

2つ目に、新たに総合教育会議を設置し、教育施策の大綱を定め、いじめや体罰防止に努めてまいります。本日、午後から第2回の会議を開催する予定です。

3つ目に、公共交通について、地域公共交通網形成計画を策定します。

最後に、第二次筑紫野市都市計画マスタープランを策定いたします。

これら5つの柱とともに「ひかり輝く筑紫野市づくり」に向けて、全力で取り組んでまいります。簡単ではございましたが、以上で、平成27年度の予算を使って、山口地区に関係のある事業、そして、筑紫野市が進んでいっている基本的な5つの柱に伴って御説明を申し上げさせていただきました。皆さん方の今後筑紫野市に対しますいろいろな諸問題に対しての御理解と御協力を心からお願い申し上げまして、市政の概要の説明に代えさせていただきますと思います。御清聴どうもありがとうございました。

(お茶給仕)

○(福祉委員) すいません、今日のおやつは、予算を区の方からいただいて、いきなり団子のサツマイモは子ども会の収穫です。そして中に入っているあんこは末岡トシエさんから小豆をいただいたので、それで作っています。甘生姜は山口の特産なので、一緒につけました。どうぞお召し上がりください。

○(事務局) では、お茶とお菓子をいただきながら意見交換に入らせていただきます。本日のテーマ、高齢者福祉に関連すること、また山口区に関連することで市長に直接聞いてみたい、あるいは意見を言ってみたい方がいらっしゃいましたら、遠慮なくお願いします。

○(福祉委員) 先月のいきいきサロンのときに皆さんに市に対する要望をとということで出していたのですが、皆、どうしても高齢者が進む中で免許証の返納があったときに、車に乗れない状況が出たときに、市として太宰府みたいなまほろばのバスとか、もう少しバスの回数というか、カミーリヤのバスを利用できるとか、何かそういうふうな行動がで

きるようなところをもう少し考えてほしいというのが意見として出ていました。

それと、いきいきサロンとして年間予算を3万6千円いただいているのですが、一応、毎回のおやつ代で、あと活動費というのが節約しながらしているのですが、もう少し予算を上げていただきたいなというふうな、すいません、よろしくお願いします。

○（藤田市長） 私が答弁をさせていただく前に、せっかく今日は健康福祉部長と環境経済部長と教育部長、顔をそろえておりますので、そちらのほうから答弁をさせていただいて、補足することがあれば私のほうからさせていただくというような答弁の仕方ではよろしいでしょうか。そういうふうにさせていただきます。健康福祉部長、檜木部長から。

○（檜木健康福祉長） 私のほうから事務レベルのお話を先にさせていただきたいと思っております。よろしくお願いします。

交通の便の確保ということですが、現在、筑紫野市内のバス、たくさん走っています。ここの山口線もそうですけれども、赤字補填とか運行の委託という形を取りながら一定のバス路線を確保させていただいているところです。

それと、もう一方でカミーリヤ巡回福祉バスです。平成10年11月から運行させていただいており、現在2台体制で運行させていただいております。これが16年以上たっていますので、買い替えの時期がきておるところです。その機会を利用いたしまして2台のマイクロバスを買い替える作業と、もう1台13人乗りぐらいのワゴンタイプの小型の物を1台追加を考えまして、3台体制にする計画が進行中です。来年の年明けから3台になりますものですから、新しいコース、もう少し細かいコースができるところです。今は2台体制で4コースを取っておりますけれども、3台になりますので一定の拡充が図れるものと考えております。それがカミーリヤバスの現在の動きです。

それから今後、先ほどの施策の説明にございましたように、今年度は、またそういった動きとは別にしまして、現在の地域の交通事情、こういったふうになっておるのかの把握、それとカミーリヤの巡回バスの路線、それから、そういったものを踏まえてコミュニティバスの必要性の検討を含めまして、市内全体の公共交通網に関する計画を今年度中に策定することとなっております。

今後は、そういった計画ができますと、その計画に乗った利用促進というものになってまいりますので、そういった計画が策定中ということをお理解いただきたいと思います。新しい地域公共交通網計画を本年度中に策定することです。

それから、サロンの補助金の値上げということの要望でございます。現在、市内おかげ

をもちまして77カ所のサロンが力強く活動をしていただいております。高齢者サロンが66カ所、障害者サロンが3カ所、子育てサロンが8カ所ということで、年々増えていっている状況です。

それで、先ほどありましたように、こちらの山口区さんのほうには3万6千円の補助金が社協を通して交付されておるということで、それがちょっと足りないということですが、実を申しますと3万6千円のうちの3分の2が市からの助成で、社協に補助をさせていただいておりますという状況です。あと、規模が大きいところでありますと年間6万円交付されているようなところもございます。そして、また福祉委員の活動の助成につきましても、市が3分の2の助成をさせていただいております。そのような状況を賢察をさせていただきまして、これ以上の市の負担はちょっと財政上厳しいものがございますものですから、区からの助成とかほかのサロンがなされています参加費の徴収とかとかそういったところをぜひともご検討いただきたいというのが、事務レベルでの考えです。どうぞよろしく申し上げます。

- （藤田市長） 何か部長がものすごく苦しい答弁をして、絶対、御理解がいただけないだろうと思っておりますけども、補助金については、社協とも協議をしながら検討は進めていきたいと思っておりますが、十分な御理解がいただけるような体制ができるかどうかというのはちょっと定かではございませんけど、とにかく前向きに検討は進めていきたいと、このように思っております。

それから、公共交通の体制で今部長に話をさせていただいたのですが、今アベノミクスの中のまち・ひと・しごと創生法の中で、地域活性化交付金というのがございまして、これを我が市は申請しまして3590万円という交付金をいただいたのです。これで福祉バスを大型2台とマイクロ1台、新しく購入するという形になっております。一応12月ぐらいには入りますので1月から運行を開始しますが、この運行の中には部長が申しましたように、今までの4コースから6コースに増やしまして、そして時間的にも、もう少し回数を増やすという、今こういう努力をしております。

それから、もう一つは地域交通の協議会、これは筑紫野市は山が幾つもあります。山口の九千部もあれば大根地もあれば御笠の方もある。そこを登ったり下ったりするので非常に効率が悪いのです。そして、南北には軌道が走っています。軌道の駅というのは、4市1町の中で一番うちが多いです。ですから、その軌道と、今補助金を出しているバスとの結東点を作りながら、そこまではコミバスを通していくとか、そういうふうなことを今

協議しているのですが、何とかこの交通体系については、もう少し利便性を高めていきたいと、高齢化率も進んでいきますので、そういうこと考えて検討中ですので、御理解をいただきたいと思います。補足説明です。すいません、補助金が上がらなくて。

○（老人クラブ） ちょっとすいません。老人会の組織の問題にちょっと絡むのですが、今度、二日市東校区のコミュニティができるようになったので、山口校区の単位クラブが、今度、東校区に行くようになって、石崎、針摺、針摺東、それから若中、朝倉街道団地、俗明院、そうすると、残りますのが山口とむさしヶ丘の2つが市老連に入っている組織になる。そうすると、山口校区が、老人会として事業ができなくなるのです。平等寺、萩原、それから古賀、立明寺と4つあるが、組織がないです。区長さんが責任者になっておられますので話し合っていこうかなと思っておるのですが、いろいろ聞きますと、そこの中の活動方針も各地区にあらうかと思いますが、校区に全然、老人会が消滅するってことは考えられないわけで、どうしようかなとこの前の連盟の会議のときもその話が出ていたのですが、今年度と来年度までは山口校区としてそのまま東校区分が山口連盟として活動しようというのは、老人会としては今、決定しているのです。それ以外にして東校区のコミュニティができますと、その活動も一緒にするということになる。そうすると山口校区にはどうしても影が薄くなるのです。いきいきサロンとってこれだけなっていますから、去年いきいきサロンとして校区でやっていたのがあります。それがコミュニティとしての組織運動の中のいきいきサロンで元気クラブというのがあるのです。その中でいきいきサロンとしてその活動の一環としてやっています。だから、どういうふうな話し合いを区長さんとやっていこうかなと思っておるので、また区長さんに御相談に来るかもわからないので、そのときはお願いしたいなと思っておりますので、よろしくお願いします。

○（藤田市長） わかりました。荒瀬区長さんは、山口校区の代表区長さんです。だから、市の中の代表的な区長三役の一員であります。コミュニティというのは皆さんからも御理解いただいているかどうかわかりませんが、小学校単位につくっていかうというので11館建てなくてはいけないのですが、そもそも昭和51年、神代市長さんのときに計画が始まった事業です。ずっと今、私で7代目ですけど、つくろうとってできない、それぞれの市長さんがつくろうつくろうとってできなかったのですが、今7館目をつくって、7館でスタートしようとしているのが現状です。今、末次さんが言われたように、老人クラブはどうなるの？あるいは子ども会はどうするの？消防団はどうなるの？そういう問題がいっぱいあるのです。だから、それを今度平成27年度で一応その計画を立てて、老人

クラブをこういうふうにしましょうね、子ども会はこういうふうにやっていたほうがいいですねというのをコミュニティを中心にして7館の館長さんたち、あるいは区長会と協議をしながらそれを決めて、そして平成28年度に施行していく。施行していても、いろんな問題があります。施行する中で、老人クラブはもう少しこうしたほうが活動しやすいよというような問題が出てくると思います。それはそれでまた検討進めていかななくてはならないと思っていますが、言いたいのは、長い歴史を経てもできなかったことを今やろうとしている。それはなぜかという、10年後、あるいは20年後の筑紫野市を見たときに、今のままの体制ではもうできていかないよというのがもう現実社会の問題なのです。

例えば、大野城市は四十数年前からコミュニティをやっています。四十数年間の歴史の中できちんとしたコミュニティを中心に市民活動が全てできている。うちはできてないのです。それを今つくろうとしている。だから、荒瀬区長には大変、御迷惑をかけています。そういうふうなことで、皆が今、苦悩しながら前向きに将来の筑紫野市をどうつくっていくことが、子や孫に誇れるような筑紫野市づくりになるのか、あるいは高齢者社会を迎えたときに、皆が希望を持って楽しく自分の将来を過ごす社会がまちづくりができるのか、それに今専念しているところでございますので、どうぞもうしばらくお待ちください。

○（老人クラブ） 市長さんも山口校区出身者でありますよね。どうぞよろしく願います。

○（藤田市長） 山口音頭で育っているところでございますので、よろしく願います。

○（荒瀬区長） すいません、PTAの役員の方から聞いてくれと言われたので、お聞きします。今、小学校2学期制になっていますよね。やはり皆さん、保護者の方はお勤めが多いので、余り子どもを休みにされたら困るという意見が多いのです。何で2学期制にして秋休みをつくったか、ちょっとそのあたりが腑に落ちないから聞いてほしいということなのでお聞きします。

○（藤田市長） わかりました。この2学期制については、江崎教育部長が来ておりますので、そちらのほうから答弁をさせていただきたいと思います。

○（江崎教育部長） 私のほうからお答えをさせていただきます。

本市では、小学校においては平成21年度から2学期制ということで各学校準備が整ったところから順次実施してきております。今年度から市内の全小学校が2学期制に移行しております。ここの山口小学校においては、平成23年度からの実施ということで、今年で5年目を迎えております。

2学期制に移行した理由ということですが、学校におきまして2学期制ということで始業式、終業式が1回ずつですけれども儀式的な行事が減ることになりますので、その分、学校の教育活動にゆとりを生み出そうじゃないかというところで通常の学習をこれまで以上に充実をさせたり、補充の学習、そういったきめ細かな指導を行ったりすることができると、子どもたちと向き合う期間を増やそうじゃないかというところで取り入れをさせていただいております。

確かに、働いておられます保護者にとりましては大変不自由をおかけしておると思えますけれども、夏休みと同様、秋休みにつきましても、秋休みというのは体育の日のときに三連休ございしますが、その前の木曜日と金曜日に2日間だけ学期の区切りということで2日間だけ休みにして、5日間連続の秋休みということになっております。学童保育を活用させていただくことになっておりますけれども、今後も2学期制のこういったメリットを生かしながら教育活動のさらに充実を図ってまいろうということで、2学期制については今年度からも全校になりましたので、実施していくということで御理解をいただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

○（藤田市長） 2学期制について、ちょっと補足させていただきますが、昨年、小中学校16校ございしますが、普通教室の304教室に一齐にエアコン整備をしました。これは他市にないぐらいのスピードでエアコンをつけたのですが、これによって今、問題のPM2.5、これを予防しながら教育が推進できる。それと、もう一つは共同調理場を改修しまして、おいしい給食を出すようにしています。これも5億円ぐらいかけました。それも去年、一遍にやってしまったのです。それで、給食を皆さんと食べて回るのですけれども、市長おいしくなったよって言うてくれるようになったのです。今の御質問の中で、家庭的に、やっぱりもう少し学校に行ってほしいというようなことが御意見であります。これは学びやすい学校制度をつくらないと、環境をつくらないとそこに行きませんので、今、夏休みも短くなっているのです。秋休みも短くなっている。それは、学校の学ぶ施設が整備されてきているということで、夏も涼しいので学校に行つて勉強する、夏休みを短くする、その作業をしていますので、今の区長さんからの御質問も、徐々に学校教育現場の改善、改革が、さっき言いましたように総合教育会議の中でも検討されている。これは、いじめとか不登校だけじゃないのです。もっと勉強しやすい、みんなが勉強したことが身につくような環境づくりをまずしてあげなくちゃいけない、これに一生懸命、今、市政としては予算をつけて頑張っています。よろしく申し上げます。

○（評議員長） 農地の利用法などについてお尋ねしたいのですが、非常に難しい問題というのは重々承知しているのですが、山口区においても高齢化が進んでおりまして、それが同時並行でやっぱり農業が後継者もかなり減ってまいりまして、そういう中で、現在でも耕作放棄地、荒れ地がどんどん徐々に出てきておりまして、さらにこれから5年後、10年後にはさらに荒れた農地が発生するのじゃないかというふうに皆心配しておるのですが、そういう中で何か農地の利用といいますか、農地を自由にできる、例えば、売却するなり何かしてでも、それから外から移住してこられてそこに家を建てられるとか、そういう用地の自由利用というのが、確かにこれはかなり難しい農地の転用とかの問題がありますけども、こういうことができないものだろうか、でないと山口区の活性といいますか、非常に荒れ地ばかり増えて、それでなくてもまさに活性がないような地区になってしまうのじゃないかと思っております。その辺ちょっと難しい問題だと重々承知した上でお尋ねしたいと思っております。

○（藤田市長） 耕作放棄地の対策については非常に問題が多いわけですし、これはイノシシ対策も含めて山崎環境経済部長が出席しておりますので、あわせて答弁をさせていただきますので、よろしく申し上げます。

○（山崎環境経済部長） 農政を担当しております環境経済部長の山崎です。先ほど三角さんのお話にもございましたけども、農業後継者がいなくなりそうだというふうなお話もいただいております。

ただいま、耕作放棄地ということでお話いただいておりますけども、耕作放棄地、いわゆる荒廃農地というふうに捉えますと、ススキやササなどの多年草の雑草とか低木が繁茂して、農家が所持されていますトラクターとか耕運機で耕せない、通常の農作業では耕作できない土地を荒廃農地というふうに捉えるのです。

幸い山口区におきましては、この荒廃農地というのはないというふうに把握しております。一時的に耕作をやめられた土地を遊休農地というふうに整理するのですが、これにつきましては農業委員会のほうが調査しまして、所有者等に対して農地をきちんと管理しなさいよというふうな一つの指導という形も行われております。

高齢社会が進みますので、当然、農業後継者の問題、筑紫野市だけではありません。国を挙げてこの問題は大きな問題ですので、市としましては、やはり国の農業政策の補助事業を活用しながら、耕作放棄地発生防止や、あとはやはり担い手の確保、こういったところ、そういった育成などが必要であると考えておりますので、やはり国の農業政策を見

据えながら、市としても地元の農業の方々とお話しながら、やはり農地は守るところは守っていかねばいけないと思っております。

山口地区におきましては、言われていますけども、やはり優良農地、それと自然環境を守るということ、それと、地元でみそとか作っておりますので、私としましては、やはり農地を守って、環境を守っていきたいというふうには思っております。

それと、イノシシのこともですけども、やはりイノシシの対策につきましては、これは4市1町におきましてもいろんな問題が起きております。金網柵につきましては、国の補助事業を活用して26年度末までには総延長119キロ、受益面積156ヘクタールということで、国の事業を活用した対策は進めさせていただいております。

イノシシに限らず鳥獣被害、これの主な要因としましては、やはり野生動物にとって中山間地域やその周辺が農作物等の食べられる場所になっているということが大きな原因でありますので、野菜くずとか生ごみ、住宅であればペットのえさ、そういったものを狙ってまいりますので、まずは野生動物のえさ場にさせないと、また、その地域に接近、侵入させないというような対策が必要だと考えております。ですから、集落農地を野生動物のえさ場にしない、野生動物が近づきにくい環境を整えるということで、先ほど農地の確保の重要なポイントだと思っております。

それと、最後は地域ぐるみで取り組むということで、その点が重要だと思います。特にイノシシは鼻がよくききますし、学習能力が高いと言われておりますので、やはり一度味を覚えると何度でもやってくるということでやってまいりますし、あと、隠れ場所とか進入路の管理を十分にする必要があるので、やはり地域ぐるみで取り組みながら有害鳥獣駆除班とか、県、それとかJA、それと市と、やはり力をあわせて取り組んでまいりませんと、抜本的な対策というのはなかなか難しいのが現状ですので、地元の方々と力をあわせて進めたいと思っておりますので、御理解をお願いしたいと思っております。

○（サロン登録者） 福岡市とか大野城市とか春日市は、バスの1年分の無料券が70歳過ぎたらあるらしいのです。筑紫野市はないから、ちょっとそれを説明していただけたら。私、70歳になったときに市役所に行ったんです、その件を聞いていたから。そしたら筑紫野市はないんですよって言われただけでした。それでちょっとなぜかなと思って。

○（藤田市長） 私のほうからお答えさせていただきますが、その対象となるバスがないのです。要するに100円バスが。福祉バスは走っています。これは無料バスですから、福祉バスはただで乗ってもらうので。ところが他市の場合は、100円バスとって回って

いる公共バスがあるのです。うちはそれが無いのです。それを今からつくるために協議会をつくりましたという説明を先ほどさせていただいた。その辺は遅れています。なぜかという、主要幹線がずっと通って、西鉄さんが利便性を高めてくれていたのです。ところが、西鉄さんも乗り手が少ないので採算が取れないと、だからやめたとおっしゃるものだから、今、補助金を出して走っているのですが、言われるように1年間通しての無料バス券を発行する、そういうふうなバスがないのが現状です。今後、検討していかなくてはならないと思っています。

○（サロン登録者） さっき、庁舎建設についてちょっと出ましたのでお尋ねしたいと思いますが、筑紫野町は昭和30年に合併いたしまして、そして昭和63年、今、平成27年ですから通算すると90年になるわけです。その中で、3市1町は早く建設が進んでおるわけですが、筑紫野市は、11月15日号、2、3日前に広報が来ましたので内容については大体読みましたからわかりました。だからこういうふうにしていきたいということが書いてありましたので。

それと問題点は、福岡県は60にわかれております。市が28と町役場が30、それから村役場が赤村と東峰村で2カ所、合計あわせて60市町村になっておる中で、4市1町、太宰府、大野城、春日、那珂川と筑紫野となっておりますけど、その中でも一番建設について遅れとるのではないかと。そういう意味から今申し上げましたように90年経過しても、まだ。やっぱり事務所によって事務を改善するということが合理化されないじゃないかと、あっちこっちまたがっておりますから、そういう意味からも早く建設がいろいろ話し合いで進めてあるようですけど、場所も大体決まって森永跡地とかそういうこともちゃんと書いてありましたから理解したわけですから、早く合理化するためには事務所を早く建設が必要じゃないかという意見を考えておるわけです。今までどうなっているか全くわからないわけでした。そういうことで広報を見ましてよくわかりました。

もう一点は、財政上、基金は貯金額だということで書いてありましたから、内部留保金が、それと建設費が相当多額の金額にわたるのじゃないか、そういうことで、今まで延び延びになっているのではないかという気がします。問題点は財政上の問題だと、建設するには多額の金額がいるのじゃないかなど。それともう一つは、大体何年後までに建設が終わるようなことで進めてあるのか、ちょっとお聞かせいただきたいと思います。

○（藤田市長） 非常に熱心な移動市長室の内容でございまして、時間大分ちょっと過ぎてまいりましたので、これを最後の質問とさせていただいて御答弁をさせていただきたいと

このように思っておりますが、今、御質問があった問題は、庁舎建設がなぜ遅れているのかというような御質問であろうと思いましたが、そのとおりでよろしいですか。庁舎建設についての御答弁でいいですか。

今、昭和30年とおっしゃいましたが、これは1町4村が合併して筑紫野町になったとき、それから昭和47年に市制施行して42年たっています。そういう中で4万人ぐらいのときから、市制施行して40年たって今10万2千人です。なぜこんな話をするかというと、庁舎の一番古いのは76年ぐらいたっています。後は全部プレハブです。そして、その中に471名の職員が働いているのです。そして、嘱託職員、臨時職員も入れるとプラス400人ぐらいおりますから、900人ぐらいの職員があそこで働いて、10万2千人余の市民の皆さん方のいろんな問題を前向きに解決しながら、住みやすい、住み続けたい町をつくることに努めているのですが、これはもう御存知でしょうけど、田中市長さんのときに庁舎は建てるということで始められて19億8千万円ぐらい基金をためられました。ただ、残念ながらその次の方が庁舎は建てないという形になって8年間凍結しました。私、平成23年の2月1日に市長にならせていただいて市民アンケートを取らせてもらったのです。73.1パーセントぐらいの人は、庁舎は必要です、建ててくださいとなったのです。それで19億余の基金をもとにして基金もずっと積み増して、今23億円ぐらいになっているのですが、それで今建てようという計画を進めています。ところが、田中市長のときは5カ所ぐらい土地があったのです。今のイオンモールの所も1つありました。ところがなくなってしまって、森永乳業跡地を買ったのです。これは10億で買いました。今、その土地が適当な庁舎建設の最適地であろうというのを議会の特別委員会で議論してもらって決めてもらっています。それが広報紙に載っていると思います。

じゃあ、これからどうするのということになりますと、平成23年11月に、市民からアンケートを取ってその数値が出ています。建ててください、建てよう、建てていいということになっています。あとは、言われたように予算をどうしていくかという今、内部協議をしています。これは、合併特例債というのがあって、昭和の大合併から合併をした地域は合併特例債というのがあって、大体80億かかるとすればその80%は交付金で出るのです。うちはないのです。そういうマイナス要素を持ちながら予算をどういうふうにしていくかと真剣に協議しておりますが、それがいつ建つと言われると、今、協議中でありますので、確実にどうということが日程的ところが申し上げるわけにまいりませんが、そういうふうにして動き出していますので、議会のほうも協議に入りまして内

部協議に進んでいますので、そんなに長く引き延ばすということはないように形をつくっていききたい。

それと、もう一つつけ加えますと、私は市長になってまず思ったのは、こんなプレハブで75年もたったところでよくこの職員さんたちが黙って頑張ってくれているなど頭の下がる思いです。ですから、私は何としても一日も早く働きやすい職場をつくって、その中で笑顔を持って働いていただく、そういう職場をつくりたい、これが私の本当の望みです。ですから、何とかそこら辺は、今質問にありましたことにはお答えできるような努力をこれからしていきたいと、こういう答弁で今日はこらえておいてほしいと思います。よろしく願います。

○（事務局） 意見交換でございました。それでは、最後の項目でございます。懇談会の最後に藤田市長からお礼の挨拶を申し上げます。

○（藤田市長） 本当に今日は大変お忙しい中に、このように山口区の皆さん方に長時間にわたって懇談をしていただいて、おいしいお茶とお菓子まで出していただきました。

認知症の予防とか健康寿命の延伸、それから、行政喫緊の課題として取り組まなければならない庁舎の問題とか、いろいろ、交通体系の問題、皆さんから出していただいた農業用地の問題、あるいは農業用地を何か活躍できるような地域形態を作っていただきたいというようなことなど、非常に今日は勉強になりました。そして、荒瀬区長さんを中心に、この山口のコミュニティづくりに皆さん方が協力していただいていることもよく理解ができました。これを市の今後の行政に生かすために、我々も皆さん方の貴重な御意見を真摯に受けとめさせていただいて、努力をしながら、皆さんの声を生かしていきたいとこのように思ったところでございます。

長時間に渡ったいきいきサロンを含めた移動市長室、52回目でしたけど、4回目の移動市長室を思い出濃く持っているように、この52回目の移動市長室が一生忘れない思い出に残る貴重な移動市長室であったことを厚く御礼申し上げて、私のお礼の言葉に代えさせていただきます。

皆さんどうもありがとうございました。